

授業科目名	権利擁護と成年後見			科目コード	K1604P12
英文名	Protection of Human Rights & Guardianship				
科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援				
職名	非常勤講師	担当教員名	柴田 稔		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	2単位		
授業の概要	法と福祉実践、法の世界と事実の世界との乖離がある現実の中で、権利とは何か、擁護とは何かから考え、関連の法・制度を通じて実践の基本である「自己決定支援」について学ぶ。				
キーワード	自律の権利保障	保護の必要性	パートナーリズム		
到達目標	相談援助における権利擁護について、日本国憲法、民法、行政法の理解を踏まえ、認知症や知的障害者等を支援する成年後見制度をはじめとする権利擁護の必要性と、その課題（保護と自律のディレンマ）等についての理解を目指す。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）			教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	相談援助における活動と法 想定される法律問題 社会福祉士の活動の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	権利とは何か 基本的人権・社会権	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	権利とは何か 基本的人権・社会権	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	権利擁護の視点から民法を理解する	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	法律関係と事実関係（自律と保護）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	成年後見制度の概要（1）法定後見制度の全体像の理解	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	同上 （2）任意後見制度の理解	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	成年後見人（特に、専門職）の責務と課題	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	日常生活自立支援事業と成年後見制度利用支援事業	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	さまざまな権利擁護の仕組み （苦情解決・評価・個人情報保護法）	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	さまざまな権利擁護の仕組み （障がい者の権利条約、障がい者差別解消法、虐待防止制度等）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	権利擁護に関わる専門職と諸機関とのネットワーク	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	擁護するとは（自律と保護） バターナリズム	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	擁護するとは（自律と保護） 権利擁護活動の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	擁護するとは 権利擁護活動の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>1) 平常点(20%程度)、レポートまたは期末試験(80%)とし、総合的に評価する。  2) 平常点の内容は、出欠状況・出席カードなどとする。</p>		
使用資料 <テキスト>	「新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度[第4版第5刷]	使用資料 <参考図書>	秋元美世、平田 厚著「社会福祉と権利擁護」
授業外学修等	新聞、インターネット等で権利擁護、成年後見関連の最新話題を確認しておく。		
授業外質問方法	出席カードへのコメント記入に回答することを主とする。		
オフィス・アワー			